**個人総括**

R4A1：亀山　智樹

**役割**

　レイアウト・デバック

**作品制作を通じて**

今回私がこの卒業研究を通して一番感じたことはコミュニケーションの大切さだ。

グループを作り1から「こういうのがいいんじゃないか」「もっとこうしたらいいんじゃないか」様々な試行錯誤をして今回このシステムをグループで完成させた。初めは順調に進んで迎えた中間発表では、色んな先生方につっこまれ自分たちの話し合いには出なかった意見を聞き、もっと周りの意見も聞きながら作業を進めることが大切だと思った。そして身近な人の意見や先生方の意見を取り入れ、今までの物を崩さずに完成することができたのはグループで一丸となって活動できたことが1番だと思う。

しかし今回私は大きく2つの点を反省すべき点であると考える。まず1つ目は、私は技術面のほうではなくデザインを担当したが、自分の担当していることだけに集中してしまい他の人の作業の進捗状況が把握できなかったことである。それにより今回予定していたスケジュールより大幅な遅れが出てしまったのは反省すべき点であると思う。これを改善するにはLINEなどのツールを活用したり学校内で進捗状況を聞きながらグループ内で助け合いながらできたのではないかと思う。コミュニケーションをとることで進捗状況を把握することで、手の空くメンバーが出ることもなく効率よく作業を進めることができたのではないかと思う。

2つ目は、卒業論文との両立ができなかったことだ。私はほかのメンバーより卒業論文の制作が長引いてしまい卒業研究の時間に卒業論文の作業を進めたりしていた。これにより自分の担当していたことを別のメンバーに頼んだりしてしまったことがあり迷惑をかけてしまうことがあった。これが原因でスケジュールが遅れてしまったことに変わりなはいと思う。卒業論文にだけ集中するのでななく両方同時に進めることができればもっと効率よく終わらすことができ、円滑に作業を進めることができたかもしれない。私は、同時に計画を立てて実行し円滑に進めることで時間に追われることなく余裕をもって終わらせることができたのではないかと思う。

**まとめ**

　まだまだ反省すべき点はあるが私はこの研究を通して1からシステムを作る大変さ、与えられた役割をちゃんとこなす責任感、コミュニケーションの大切さを学んだ。自分が卒業論文の作業をしているときに快く自分の担当を引き受けてくれたメンバーには感謝しかない。卒業研究は終わってしまうがこの研究で学んだことを今後に生かしたいと思う。